



北海道
株式会社 新和ホールディングス
(プレイランドハッピー)
「札幌医科大学附属病院に
対する教育や医療の支援」事業



株式会社 新和ホールディングス
代表取締役
新井 修さん

選考理由

株式会社 新和ホールディングスは患者さんがよりよい治療を受けられるよう、札幌医科大学附属病院へ新生児ケア用医療ベッドを寄贈するなど、物心両面で貢献している。

また、患者さんや病院スタッフ向けに音楽コンサートを開くなど細やかな心配りも忘れない。

地域医療に何か必要なのか、深く考慮された支援と一環した姿勢はマスメディアでも高く評価され、継続的な大学附属病院への寄付や必要な物資の贈呈は地域の中小の医療機関と大学病院との繋がりを深めており、医学生たちにも地域医療とは何かを考えさせる機会となっている。



社会貢献活動審査委員会
委員
永井多恵子氏

地域医療の要となる
大学病院に対して
ニーズに沿った寄付や
医療機器などを贈る

医療現場の設備の充実を図り、
病院と地域をつなぐ支援活動

1951年創業の株式会社新和ホールディングスは札幌市を中心に北海道内に「プレイランドハッピー」の名で20ホールを展開している。同社では地域医療への支援と地域貢献を目的として、札幌医科大学附属病院に対し医療現場のニーズに沿った車いすや医療用ベンチベッド、リハビリ用訓練機器などの医療・福祉機器を継続的に寄贈している。また、外来患者や入院患者をはじめ病院関係者・地域住民を対象とした病院内での音楽コンサートも開催している。この取り組みは2011年に教育や医療に役立てるため、同大学へ1,000万円の寄付を行ったことを契機に始められたものである。

2021年には新型コロナ禍における感染症対策や医療体制の充実に役立てるため1,000万円を寄付している。さらに2022年も引き続き新型コロナ禍で人との接触を伴うイベントなどが困難な状況にあるなか、同病院と緊密な連絡を取り合い検討を重ねた結果、新生児ケア用医療ベッド2台、救急医療用ストレッチャー2台、AED(自動体外式除細動器)1台、歩行補助器1台を寄贈することとなった。寄贈された医療機器は、高度な医療を必要とするNICU(新生児集中治療管理室)やGCU(新生児回復治療室)、小児科病棟などで使用されている。

新和ホールディングス様からの「新生児ケア用医療ベッド」「救急医療用ストレッチャー」等の寄贈及び感謝状贈呈式



寄贈した医療機器



寄贈活動に対して贈られた感謝状

2011年からの継続的な支援が
地域医療や患者を支える大きな力に

この寄贈にあたって、昨年4月19日には札幌医科大学記念ホールで寄贈及び感謝状の贈呈式が行われた。

感染症対策のもと、関係者や報道陣が集まるなか、同社の新井修代表取締役から「この度、病院よりご要望がございました医療機器を寄贈させていただきました。このような活動をこれからも可能な限り継続していきたいと思っております」という挨拶があった。それに対し、同大学の山下敏彦理事長・学長から「新和ホールディングス様によるご支援は本学にとって地域医療への貢献や患者様を支える大きな力となっております」という謝辞とともに感謝状が授与された。この模様は『北海道新聞』の「道新ピックアップニュース」や北海道内の民放各局でも取り上げられ、道民に広く周知された。

地域医療の中心となっている病院が希望する医療機器などを寄贈することで、地域住民はもとより小中規模病院との連携が効果的に行われ、患者の治療などに多大な貢献が果たされている。また、毎年継続的に寄贈などが行われることで、社会情勢の変化や経年劣化などにも適切に対応できる。さらに、こうした活動が各報道機関で報道されることで市民から好意的な意見が寄せられたり、遊技業界のイメージアップにつながっている。